

しらおい再発見

地域学講座

5 ポロト地区



アイヌ民族博物館

しらおいのまちを歩いてみませんか

2017年3月

民族共生象徴空間整備による

白老町活性化推進会議

5 ポロト地区

内 容 イオル事務所チキサニからポロト湖畔、象徴空間開設予定地
ポロトインフォメーションセンター、ポント沼、イオル整備地、
アイヌ民族博物館ほかを歩きます

ルート ①イオル事務所チキサニ⇒
②民族共生象徴空間開設予定地（国立アイヌ民族博物館・
国立民族共生公園） ⇒
③ポロトインフォメーションセンター ⇒
④ポント沼 ⇒
⑤イオル整備地（チセ等） ⇒
⑥アイヌ民族博物館（アイヌ文化の話・古式舞踊・衣装試着・
松浦武四郎モニュメント）

① アイヌ文化の復興等を促進するための「民族共生象徴空間」

○象徴空間の意義

* 「民族共生象徴空間」は、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」報告書（平成21年7月）で、今後のアイヌ政策の「扇の要」となる政策として提言された。

* 同空間は先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、アイヌ文化が直面している課題に対応しつつ我が国が将来へ向け、多様で豊かな文化や異なる民族との共生を尊重する社会を形成するためのシンボルとなるもので、アイヌ文化復興・発展のナショナルセンターとして、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に合わせてポロト湖畔に整備され、一般公開される。

* 象徴空間は、アイヌ文化の復興に関する我が国における中核的な役割を担うため、4つの機能を備え、また、3つの施設で構成される。

○ 象徴空間の具体的な機能

①展示等機能

- ・先住民族としてのアイヌの歴史、文化等の総合的・一体的な展示
実践的な調査研究、伝承者等の人材育
- ・国立アイヌ民族博物館を整備

②体験・交流機能

- ・文化伝承・体験学習活動（伝統的家屋、山・海・川の活用）
- ・国内外の文化との交流（海外の先住民族文化との交流等）
- ・国立民族共生公園を整備

③文化施設周辺の公園機能

- ・豊かな自然を活用した憩いの場等の提供

④アイヌの精神文化を尊重する機能

- ・伝統的儀式を行える広場等
- ・大学等にあるアイヌ人骨のうち、遺族等への返還の目途が立たないものは、国が主導して象徴空間に集約し、尊厳ある慰霊に配慮、適切な管理を行う。
- ・慰霊施設を整備

○区域及び施設

- （1）アイヌ文化の復興の中核となる国立アイヌ民族博物館及び国立民族共生公園をポロト湖畔周辺地域に設定
- （2）中核区域と連携してアイヌ文化の復興のための利活用を図るため、関連区域を別に定める
- （3）遺骨等の慰霊及び管理のための施設

○その他の措置

象徴空間の一体的運営を図るため、アイヌの人々の主体的参画を確保する。

- (1) 民族共生象徴空間を総合的かつ一体的に管理運営するための基本計画及び中期事業計画を策定
- (2) 民族共生象徴空間の中核区域の施設を一体的に運営し、アイヌ文化の伝承、人材育成活動、体験交流活動等の実施に当たる一の運営主体を指定
- (3) 象徴空間全体の円滑な運営を図るため、関係者による運営協議会を設置

○象徴空間開設スケジュール

平成 31 (2019) 年度中	慰霊施設供用開始
平成 32 (2020) 年春	国立アイヌ民族博物館供用開始 国立民族共生公園供用開始



象徴空間配置予定図 (2016. 11現在)



しらおいイオル事務所 チキサニ



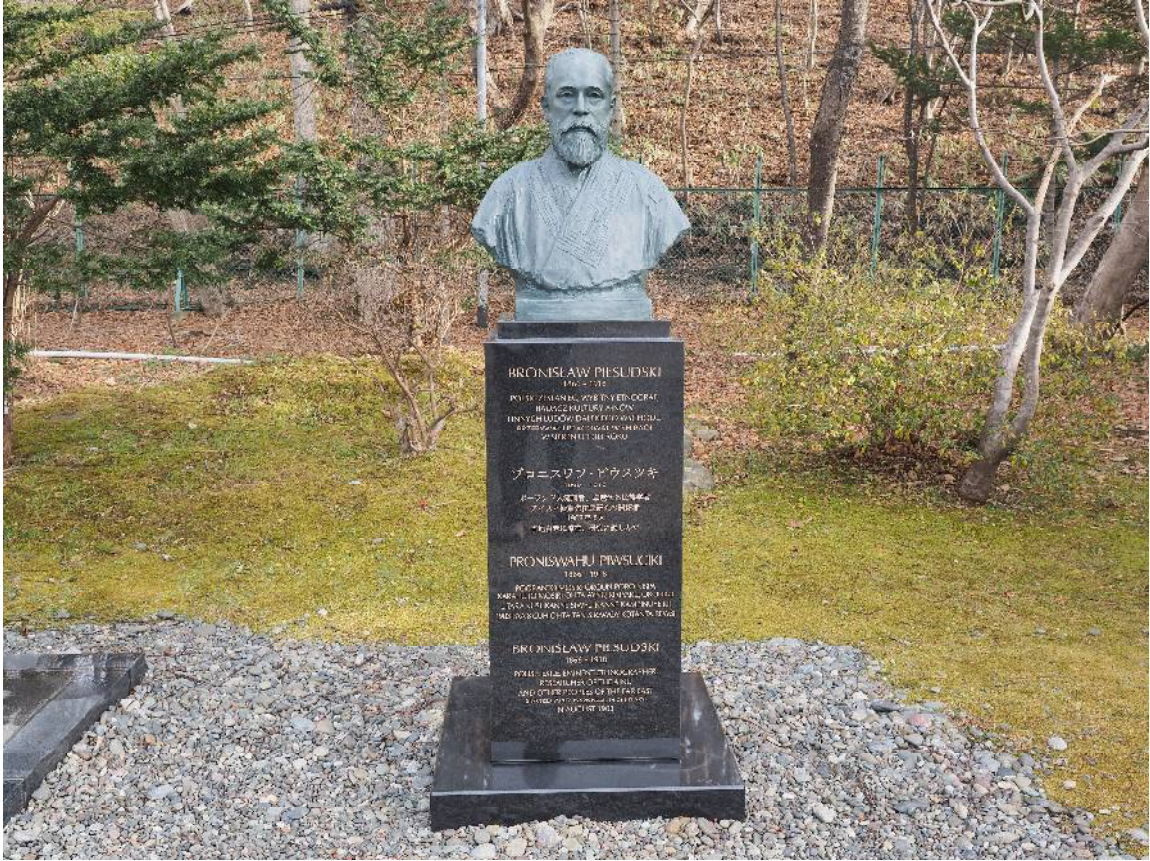
アイヌ民族博物館



チセ群



松浦武四郎
モニュメント



ピウスツキ像



アイヌ古式舞踏



ポロト湖



ポント沼



ポロト湖畔遊歩道



ポロトインフォメーションセンター



ポロトの森 ビジターセンター

編集 民族共生象徴空間整備による白老町活性化推進会議

監修 白老町教育委員会生涯学習課

問合先 仙台藩白老元陣屋資料館 TEL0144-85-2666